

腎臓・リウマチ膠原病内科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	腹膜透析(PD)患者における下部消化管内視鏡検査の際の予防的抗菌薬使用と腹膜炎発症に関する検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 腎臓・リウマチ膠原病内科 (職名) 特命教授 (氏名) 伊藤恭彦
研究の対象となる方	2018年1月から2024年12月までの期間において、愛知医科大学病院腎臓・リウマチ膠原病内科でPD加療を行った患者さんの中で、下部消化管消化管内視鏡検査を行った方
研究期間	研究実施承認日 ～ 2027年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>腹膜透析患者さんにおける下部消化管内視鏡の際の予防的抗菌薬使用において本邦の実態調査を行うとともに、経口抗菌薬使用の妥当性を経静脈投与と比較して検討することを目的としております。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>当院に通院されていた腹膜透析患者さんで2018年1月1日から2024年12月31日までに下部消化管内視鏡検査を行われた患者さんを対象としております。これまでの診療の際に得られた下部消化管内視鏡の結果や採血結果などを電子カルテから抽出して研究に利用します。</p> <p>これらの情報を含むデータベースを共同研究機関から得られた情報と統合して解析を行います。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、電子メールにより関西電力病院へ提供します。</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：年齢、性別、腎不全の原因、腹膜透析歴・糖尿病の有無といった患者背景に加えて、採血結果、内視鏡検査の際の予防的抗菌薬使用の有無や内視鏡検査後の腹膜炎発症の有無、内視鏡検査時の生検などの侵襲的処置の有無をカルテから抽出します。

提供する試料・情報 を用いる学外の研究 責任者	関西電力病院 腎臓内科 医長・血液浄化センター長 戸田尚宏
試料・情報を利用す る学外の者	共同研究機関：川崎医科大学、日本医科大学付属病院、名古屋大学大学院 医学研究科、奈良県立医科大学、小倉記念病院、聖マリアン ナ医科大学、信州大学医学部付属病院、亀田総合病院、国立 病院機構 呉医療センター、済生会横浜市東部病院、松山赤 十字病院、田川市立病院
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年8月31 日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 愛知医科大学病院 腎臓・リウマチ膠原病内科 担当者：特命教授 （氏名）伊藤恭彦 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23530）